



政策研究会  
中川 忠則  
議員

### ▼新政権誕生でどう変わる 予算の組み方

Q 予算編成が官僚主導から政治主導に変わった場合の本市への影響と、今後の陳情等の国との新たなパイプはどうなるのか。  
A 今後の情報収集に努め、必要な財源の確保を図りたい。また陳情等については、従来どおり地元選出の国会議員すべてにお願いする。

Q 新政権が掲げるマニフェストの地域主権国家の研究を行うべきではないのか。  
A 今後は各団体の知恵と説得力が左右される可能性が強くなると認識している。予算配分の情報収集等を迅速に行いたい。

### ▼管理職に勤務評定を実施 してはどうか

A 勤務評定を実施して、その結果については、勤勉手当の支給に当たって評価実績を成功率として反映させる手法で取り組み、試行的にはあるが、来年の六月の勤勉手当の支給から反映できればと考えている。

### ▼人を育てるために税金 を使うべきではないのか

Q 農業後継者として一年間就農した場合年間五万円、三年間で十万円を支給するこの制度の活用と婚活の行事の開催は。  
A 来年度からとなるが、農業、漁業を中心とする本市であるので、適切な予算配分を検討したい。また婚活の行事については、農業体験等のイベントと市の行事を活用した男女交流会事業を計画している。

### ▼学校給食について

Q 旧島原地区、旧有明地区の学校給食の米飯価格の差額はどう使われているのか。  
A 米飯給食時に出る差額分について、旧有明地区で副食、おかず代に回っている。

### ▼第一小学校の建設について

Q 教育厚生委員会でも指摘していた文化財の試掘調査等の進捗状況は。  
A 埋蔵文化財の事前調査を実施し、状況を把握したところである。

### ▼原口国会議員が児童・生徒の 顔や指紋の認証システムは導入 しないとのことだがどうか

A パスワードを設定して使用しており、認証システムは導入していない。

### ▼総選挙の結果が市政に 及ぼす影響について

Q 補正予算の執行に影響はないのか。  
A これまでの緊急経済対策予算は、国の補正予算の成立を受け、交付決定、内示等に基づき編成してきた。現状では、この制度を活用した予算執行に努めたいと思っているが、新政権の考え方もあるので、新聞等の情報にも十分留意しながら、予算執行に努めていきたい。



新緑クラブ  
永田 光臣  
議員

### ▼島鉄線跡地について

Q 事故があった場合、市に責任はないのか。  
A 島鉄南線の島原市域における線路跡地は島原鉄道線の所有になっており、線路跡地の安全管理として、橋梁部には防護さくを設置し、立入禁止の掲示を行うなどの措置をとっていると聞いている。今後も安全管理の確保を島原鉄道に要請していきたい。

### ▼水無川導流堤について

A 行政関係や地元住民の代表で構成される利活用検討委員会を設置し、一般道路及び観光用の道路としての活用が望ましいとの提言があった。しかし、課題として、多額の費用を要する島原外港駅の移設が必要になるので、県に対し、国の補助制度など活用可能な特定財源の確保を要請している。

### ▼大下墓地について

Q 排水対策はどうなっているのか。  
A 一定の勾配は確保しているが、集中的な豪雨の場合には対応できない通路も見受けられるので、その改修費用の予算を今議会にお願している。路盤の陥没やひび割れ等については、これ以上被害が拡大しないように対処したい。

◇ 殿様道路について